

特集

河川・ダムの治水対策, 維持管理, 点検補修

巻頭言

4 技術の総動員としての流域治水

清水 義彦 群馬大学大学院理工学府 教授

行政情報

5 治水機能の強化と水力発電の促進を両立する ハイブリッドダムの推進

梯 滋郎 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川計画調整室

9 水局 DXWG の取組

米沢 拓繁 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 課長補佐 (水局 DXWG 事務局)
田宮 子良 国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 情報企画係長 (水局 DXWG 事務局)

特集技術報文

14 川辺川の流水型ダムにおける環境影響評価の取り組み

北嶋 清 国土交通省 九州地方整備局 河川部 建設専門官

18 令和 4 年 7 月 14 日からの大雨で活かされた過去の教訓

佐藤 光弘 宮城県 大崎市 前危機管理監

24 WEC での水質技術開発の取り組み

水質管理・予測・対策技術の高度化・効率化へ向けて

木村 文宣 (一財) 水源地環境センター 研究第二部 水質技術開発室長

29 ダム貯水池掘削・浚渫土の下流土砂還元や有効利用を 促進するダム堆砂分級工法の開発 (現地実証実験)

峯松 麻成 ダム水源地土砂対策技術研究会 技術委員会 技術委員長 (所属会社: 東洋建設株)
片山 裕之 ダム水源地土砂対策技術研究会 技術委員会 技術副委員長 (所属会社: 五洋建設株)
浅田 英幸 ダム水源地土砂対策技術研究会 技術委員会 技術副委員長 (所属会社: 東亜建設工業株)

34 デジタルツイン建設工事監理における 自動・自律 UAV の活用事例

小俣 光弘 (株)大林組 土木本部生産技術本部 ダム技術部 副部長, 川上ダム JV 工事事務所 副所長

41 ダム工事の環境技術

宮瀬 文裕 清水建設株 土木技術本部 プロジェクト技術部 主査
牧野 有洋 清水建設株 北陸支店 土木部 工事長
小松 裕幸 清水建設株 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部 主席マネージャー

51 アーチ式砂防堰堤コンクリート打設における創意工夫

小橋 和周 佐藤工業株

58 「回転式破碎混合工法」の適用事例と適用性拡大に向けた開発

佐藤 裕 日本国土開発株 サステナビリティ経営本部 つくば未来センター 機械グループ

64 シャフト式遠隔操縦水中作業機による硬岩掘削技術の開発 ダムリニューアルに向けた T-iROBO UW の適用拡大

畠山 峻一 大成建設株 本社土木本部 土木技術部 ダム技術室 課長代理
新井 博之 大成建設株 本社土木本部 土木技術部 ダム技術室 課長

71 リアルタイム土砂・洪水氾濫予測モデルの紹介

樋田 祥久 いであ株 社会基盤本部 国土保全事業部 流域減災部 グループマネージャー
岡村 誠司 いであ株 社会基盤本部 国土保全事業部 河川部 グループ長
越智 尊晴 いであ株 東北支店 河川部 技師

77 水中施工無人化へ 絶対位置を高精度取得

古川 敦 (株)熊谷組 土木事業本部 土木技術統括部 土木 DX 推進部 企画推進グループ グループ部長
北原 成郎 (株)熊谷組 土木事業本部 土木技術統括部 土木 DX 推進部 部長
久保田恭行 (株)熊谷組 土木事業本部 土木技術統括部 土木 DX 推進部 企画推進グループ

81 水位予測精度向上へ向けた状態把握技術の開発

洪水中の河床計測等を目指したドローン開発

黒沼 尚史 (公財) 河川財団 河川総合研究所 情報施策推進グループ 主管研究員 (当時)
黒田 幸智 (株)ニュージェック 経営戦略本部 DX 推進部 DX 推進グループ グループ統括

交流のひろば	90	AI を活用した水系一貫での最適な水力発電計画策定手法 中瀬 友之 中部電力㈱ 再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部 運用・システムグループ 副長 松尾 光徳 中部電力㈱ 再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部 岐阜水力センター 川辺水力制御所 専任主任 大見 智亮 ㈱ TSUNAGU Community Analytics Data Science Unit Sub Lead
ずいそう	95	憧れの北の大地 飯田 宏 ㈱ドラムエンジニアリング エンジニアリング事業部 技術グループ 部長
	97	ギャンプラーの誤謬 高津 知司 ㈱東京建設コンサルタント 特任執行役員 技師長
部会報告	99	令和5年度若手現場見学会 横浜環状南線桂台トンネル工事 建設業部会
	101	三和エナジー(株)新狭山バイオプラント見学会 報告 機械部会 路盤・舗装機械技術委員会
	103	新工法紹介 機関誌編集委員会
	105	新機種紹介 機関誌編集委員会
統計	107	建設工事受注額・建設機械受注額の推移 機関誌編集委員会
	108	行事一覧 (2024年4月)
	112	編集後記 (松澤・那須野)

◇表紙写真説明◇

アーチ式砂防堰堤コンクリート打設における創意工夫

写真提供：佐藤工業(株)

大源太川第1号砂防堰堤は、信濃川水系魚野川支流大源太川に位置する昭和14年竣工の砂防堰堤である。我が国における最も初期のアーチ式堰堤で、『登録有形文化財』や土木学会の『土木遺産』にも認定されている。堰堤は竣工から80年近くが経過し、各所で漏水が見られることや、堤体内部にも空洞化が見られることから、既存のアーチ式石積みの景観を保持しつつ、堰堤上流側の背面に補強堰堤を構築したものである。

2024年(令和6年)6月号PR目次

【ア】
ヴィルトゲン・ジャパン(株) 表紙4
朝日音響(株) 後付1

【カ】
コベルコ建機日本(株) 表紙2
【ク】
㈱鶴見製作所 後付5
デンヨー(株) 後付7

大和機工(株) 後付4
【マ】
マシケンアテック(株) 後付3
マルマテクニカ(株) 後付6
三笠産業(株) 後付8

㈱三井三池製作所 表紙3
【ヤ】
山崎マシーナリー(株) 後付2
吉永機械(株) 後付4